

<株式会社エフエム東京 第 450 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成 30 年 7 月 3 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（4 名）

横 森 美 奈 子 委員長
内 館 牧 子 委員
ロバート キャンベル 委員 川 上 未 映 子 委員

◇欠席委員（2 名）

渡 辺 貞 夫 委員
秋 元 康 委員

◇社側出席者（9 名）

富木田 代表取締役会長
千 代 代表取締役社長
平 専務取締役
吉 田 常務取締役
西 川 常勤監査役
森 田 執行役員編成制作局長
兼 株式会社グランド・ロック代表取締役社長
延 江 営業局エグゼクティブ・プランナー
宮 野 編成制作局編成部長
若 杉 編成制作局制作部長 オブザーバー

◇社側欠席者（1 名）

村 上 常務取締役営業局長

【事務担当 森田放送番組審議会事務局長】

4. 議題： 番組試聴（約 19 分）

『秋元才加と JOY の Weekly Japan!!』

2018 年 6 月 9 日（日）11:00～11:25 38 局時間違いネット

＜議事内容＞

議題 1:最近の活動について

■作家・村上春樹氏出演 特別番組『村上 RADIO(レディオ)』、8月5日
(日) 全国ネットで放送

TOKYO FM では世界的作家・村上春樹氏が DJ をつとめる特別番組『村上 RADIO』を、8月5日(日)19時～19時55分、JFN 全国38局ネットで放送します。村上氏の番組出演は、テレビも含めてメディア初となります。

番組のテーマは「RUN & SONGS」。音楽に造詣深い村上氏が番組内でオンエアする曲はもちろん、オープニングテーマやエンディングテーマの選曲も担当。「音楽のように小説を書き、小説を書くために体を鍛えること」を40年近く続けてきた村上氏にとって、音楽と走ることが執筆のためになくてはならない要素であると言い、番組では村上氏がランニングをするときに聴いているという楽曲を紹介します。さらにリスナーから村上氏への音楽に関する質問も事前募集し、ご本人が選んだ質問を番組内で紹介しながら答えていく内容となります。

先月6月5日(火)に情報解禁したところ、村上氏がメディア初出演であることと、ご本人の肉声が長時間聴けるという希少性が相まって、多くのメディアで社会的ニュースとして紹介されました。新聞は全一般紙、スポーツ紙、全国の地方紙にいたるまで記事化され、テレビではワイドショーのみならず「NEWS ZERO」や「報道ステーション」といったニュース番組にも取り上げられました。また、海外向けニュースサイトの「The Japan Times」のほか、海外諸国の媒体でも取り上げられ、WEB ニュース掲載は国内外で合計185のサイトにのぼり、日本のみならず全世界でも大きな話題となりました。8月5日の放送(8月度聴取率調査に該当)に向けて、さらに広報展開を盛り上げてまいります。

＜村上春樹氏からリスナーの皆さんへのメッセージ＞

小さい頃から、レコード(とかCD)のコレクションが趣味で、おかげでうちにはそういうものが溢れかえっているんですが、「こんな素敵な音楽をいつも僕ひとりで聴いて、気持ちの良い時間を送っていて、世の中になんか申し訳ないよな」とよく思っていました。ときにはいろんな人たちと適当におしゃべりしながら、ワイン・グラスやコーヒー・カップを手に、心地よい時間を分け合うのもいいかもしれない。

ラジオでディスクジョッキーみたいなのをやってみようかという気になったのは、そういうところが原点になっています。だから僕の好きな音楽ソースをうちから持ってきて、それを好きなようにかけて、そのあいだに好きなことを話させていただく……そんな感じのパーソナルな番組にできればと思っています。

他の番組ではあまり(まず)聴けないような曲を、でもできるだけ寛いで聴ける音楽を選んでかけていきたいと思います。むずかしいことはほとんど抜きで。そしてその合間にちょっとしたお話もできればなと思っています。楽しんでください。

■TOKYO FM GINZA SONY PARK STUDIO について

TOKYO FM では、来月 8 月 9 日（木）に開園する「Ginza Sony Park」内に、サテライトスタジオ「TOKYO FM Ginza Sony Park Studio」をオープンします。

Ginza Sony Park は、1966 年に開業し 2017 年 3 月末に営業を終了した銀座数寄屋橋交差点のランドマークであったソニービルの跡地に開設される公園です。東京に国内外から多くの人が集まり賑わう 2020 年秋までの期間限定で、東京の文化発信拠点である銀座に、ビルを再建するのではなく、あえて公園をつくり、訪れる人々、通り行く人々に新しい価値の発見を与え、遊び心あふれる場を創造するコンセプトパークとなります。構造としては、約 707 平米のフラットな地上部と、地下 4 層の「ローワーパーク（Lower Park）」で構成された、地下に吹き抜けがあるオープンな垂直立体公園で、「変わり続ける公園」として、実験的な試みをする個性豊かなパートナーとともに「この場でしかできない体験」を創造していきます。TOKYO FM の、M1・F1 層を中心とした多くのリスナーから共感と信頼を得るメディア価値と、ソニーパーク構想のコンセプトが合致し、リスナーにフィジカルな感動体験を創出する新しいサテライトスタジオのオープンに至りました。

Ginza Sony Park のデザインコンセプトである「DRESS DOWN＝粋に着崩す」に共鳴し、1970 年代のアメリカ生まれの可動式トレーラーハウス「エアストリーム」をサテライトスタジオ用に改造して設置、ラジオ局を「粋」に着崩したような、斬新なサテライトスタジオを製作中です。8 月 9 日（木）の開園をキックオフに、レギュラー番組シンクロシティ（毎週月～木 15:00～17:00）及び金曜日 14:00～17:00 の新ワイド番組をこの TOKYO FM Ginza Sony Park Studio からの公開生放送として編成し、東京の中心、銀座から、知的で大人も楽しめる音楽エンタテインメント番組を発信していきます。

なお、TOKYO FM のサテライトスタジオとしては、渋谷スペイン坂スタジオが 2016 年 8 月に渋谷パルコの建替えに伴いクローズ、六本木 Midtown Studio が 2017 年 1 月にクローズして以来となります。



▲エアストリームの海外での展開例

【TOKYO FM Ginza Sony Park Studio 概要】

- ◆名 称 : TOKYO FM Ginza Sony Park Studio
- ◆場 所 : Ginza Sony Park 地上 1 階(住所: 東京都中央区銀座五丁目 3 番地 1 号)
- ◆ウェブサイト: <http://www.tfm.co.jp/gsp/>

< 参 考 >

- ◆名 称 : Ginza Sony Park (銀座ソニーパーク)
約 707 平米のフラットな地上部と、地下 4 層の「ローワーパーク (Lower Park)」で構成された、旧ソニービルの特徴的な構造は残しつつ、地下に吹き抜けがあるオープンな垂直立体公園です。
「変わり続ける公園」として、実験的な試みをする店舗やイベントを個性豊かなパートナーとともに展開されます。
- ◆開園期間 : 2018 年 8 月 9 日(木)～2020 年秋
- ◆開園時間 : 5:00～24:30(予定)
 - ※地上部から東京メトロ 銀座駅コンコースへの開放時間です。
 - ※パーク内の店舗営業時間やイベント開催時間はそれぞれ異なります。
 - ※地下 1F にあるインフォメーションカウンターの営業時間は 10:00～20:00 です。
- ◆休 園 日 : 1 月 1 日(予定)
- ◆住 所 : 東京都中央区銀座五丁目 3 番 1 号
- ◆敷地面積 : 707.27 m²
- ◆延床面積 : 3,807.55 m²
- ◆フロア構成: 地上 1 階、地下 5 階
 - ※地下 3 階～地下 1 階は吹き抜け構造になっています。



TOKYO FM
GINZA SONY PARK STUDIO

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○『村上 RADIO』は大変な話題になっている。これまでラジオを聞かなかった人へも強いアプローチになるのではないか。村上春樹さんという、これほど注目を集める方の出演を交渉したプロデューサーのプレッシャーはすごいと思うが、良い番組になることを期待している。数ある局の中から TOKYO FM 制作で番組が放送されることを誇りに思っていると思う。

■番組は村上春樹氏が1人で DJ をつとめる構成。「RUN&SONNGS」がテーマだが、文学の要素も強く取り入れている。先ほどの報告でもあったが、各国のメディアから問い合わせがあり、世界でも大きな反響を呼んでいる。世界各国でも聴けるようにできないか現在研究を進めている。FM 局での放送については、音楽に大変造詣の深い方なので、FM が良いだろうということもあると思う。何度かの交渉を重ね、今回の企画実施に繋がった。

○村上春樹さんからリスナーへのメッセージに「他では聴けないような曲」という表現がある。これはとてもそそられる。ファンは堪らないと思う。

■選曲も村上春樹氏にお願いしているのが、見事な選曲だと感じている。ぜひご期待いただきたい。昔の諺で「温故知新」というものがあるが、今のヒット曲ではないヒストリーを持った曲をたくさん集めて頂いている。

○世界に向けての発信を検討しているということだが、村上春樹氏は世界中に、(翻訳された)それぞれの言語ごとに愛読者がいる。実際に選曲した楽曲を聴けるということは大変貴重だと思う。電波でなくても良いので、多言語化させて WEB でも良いのでぜひ発信して欲しい。他に例のない企画、そしてラジオを届けるチャンスだと思う。

○テレビでもラジオでも放送終了後に Youtube にアップする一般リスナーがいると思うが、今回ももちろんいるはず。そういうもの(非公式アップロード)への対応は何か行うのか。

■我々がまず率先してオフィシャルで行おうと思っている。非合法でなく、リーガルなもので事務所と相談して最初にオフィシャルで配信しようと思っている。

○それは素晴らしい対応だと思う。今後のレギュラー化を期待している。

○銀座ソニーパークは大変な注目を集めそうな立地だ。ここは他にはどのような企業が出店する予定なのか。

■別紙に詳細資料をご用意した。

○パーク（公園）と言いながら建物ができるのか。

■ソニービルの地下 B4 の躯体は残し、駐車場打ちっぱなしになっているところに人工芝を敷いた造りになる。真ん中を吹き抜けにして自然光を取り入れる予定となっている。模型が資料に記載されている。地上階は緑に溢れるイメージで、プラントアーティストの西島清順氏がプロデュースする。この地上階の真ん中に「エアストリーム」というスタジオが設置される予定。

○この場所は、通りから見られたり、気軽に見学できるのか。

■数寄屋橋の公園からも見える。あまり大量な人数では難しいかもしれないが近くで見学することも可能。

○たくさんの方が立ち寄りそうだ。

■地下 1 階には藤原ヒロシ氏がプロデュースするコンビニエンスストアが出店予定。株式会社ジュンとタイアップし、世界の雑貨屋、藤原ヒロシ氏がセレクトした商品を取り扱う予定で、整理券で入場するような店舗になると予想される。他にも和菓子のとらやなどが出店を予定している。テーマが「ドレスダウン」なので、屋台を出したり、紙コップで提供したり、「銀座」という格式高い場所で、いかに粹に着崩すかということを考えている。2年間の限定。2年経つと、また新しいソニービルが建設される。

議題 2： 番組試聴

【番組名】 『秋元才加と JOY の Weekly Japan!!』

【放送日時】 2018年6月9日（日） 11:00～11:25／38局時間違いネット

【番組概要】

本日ご試聴いただくのは、毎週日曜日に放送している『秋元才加と JOY の Weekly Japan!!』の6月9日（日）のダイジェストです。

この番組は、内閣府の提供で、毎週、身近な経済トピックから、地方創生、防犯、危機管理、貧困、いじめ、環境問題まで、生活に必要な様々なテーマに沿って、担当省庁が選んだプロフェッショナルをゲストに迎え、生活に役立つ情報としてお届けしています。

出演者に元 AKB 48 の秋元才加を起用して、TOKYO FM の主要ターゲットである若者に向け、行政が取り組む生活に有益な情報を届ける内閣府の広報番組として、2016年にスタート。より、“若者目線”で伝えるために、2018年からはバラエティ番組でも活躍するタレントの JOY も起用しています。

今回、ご視聴頂く6月9日は、農林水産省 消費者行政 食育課 参事官 大隈由加里さんをお迎えし“共食のすすめ”について伺いました。

共食とは、家族や友人、職場の人など、誰かと一緒に食事をする事。独身者だけでなく、出勤や帰宅時間が多様化した共働き夫婦、少子高齢化を背景に一人で食事を摂る人の増加について、さらには、子供が一人で食事をとることも少なくない現代社会の現状について取り上げました。『働き方を見直した結果「子供と一緒に食事をとる時間が増え、これまで以上に家族とのコミュニケーションが深まった」』という声や、地域ボランティアが取り組む“子供食堂”の紹介による共食への啓発を行った放送回です。

■過去に取り扱ったテーマ

薬物乱用、特殊詐欺・架空請求、女性のキャリアアップ、地域消防団、マイナンバー制度、国の教育ローン、模倣品・海賊版撲滅キャンペーン、省エネ、世界エイズデー、留学支援制度、薬剤耐性、加工食品の表示、公共交通機関、ペットと災害、自殺のゲートキーパー、仮想通貨、格安スマホ、など

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○この日のテーマで扱った「共食のすすめ」「子ども食堂」は、昨今、ネットやニュースでよく耳にするようになった。番組は、パーソナリティ 2 人のカジュアルなトーンの掛け合いと専門家を招いての事実の取り上げ方など、全体として引き締まってバランスも良かったと思う。

○パーソナリティの秋元才加さんのトーンはとても素晴らしかった。JOY さんについてもキャラクターから人気を博していると思うが、番組中の会話で相手のことを「お前」と呼んだのが非対称性を感じ、とても気になった。親しみを込めた背景があると思うが、とてももったいなく感じた。使わなくていいのなら「お前」は使わないほう番組の核としてもいい。ジェンダー的にひっかかる人がいると思う。

○ダイジェスト版ということなので、カットされた部分で扱っていたのかも知れないが、情報の紹介は気になった。「孤食」が増えていると冒頭や中盤で何度か言及があったが、どのくらいどういう人たちの間で増えているかなどの数的根拠の紹介がなかったので、実際はどうかなどは分からなかった。

○1 つ気になったのは、内閣府の提供番組ということ。政府刊行物をそのまま読まされている番組ではないかと思った。みんなが聴いて安心するような取りこぼしのないことを正確に言っているのかと思うが、「ワークライフバランスを心がけましょう」という呼びかけがあったり、途中でパーソナリティが「働き方改革」についての情報を棒読みしていてとても違和感があった。内閣府が伝えたいことをそのまま国民に伝えているという点に抵抗を感じた。

○「子ども食堂」についての紹介があったが、子ども食堂は子どもたちの孤食対策の場ではなく、子どもの貧困対策として生まれたもの。子どもの貧困が日本においてどういう状態にあるのかに全く触れず、「みんなで一緒に食べれば美味しい」「寂しくないね」と紹介していた。子どもの貧困に向き合って食事を提供している団体が日本にあるので、実情を含めそのような声を取り上げないといけないのでは、と思った。

○パーソナリティが大事なところで情報の棒読みになってしまったり、話の深いところに全く入っていない。軽い受け答えに終始して、例えば、毎日孤食の状態にある人たちの心情などを全く想像できていない。パーソナリティ自身も損していると感じてしまう。このような形で提供を続けていくと、リスナーが気

付いていくと思う。

○「孤食」については 2000 年代から問題になっている。NHK の朝の連続小説でも孤食の問題を取り上げた。2000 年当時でもひどい状態だった。子どもがコンビニのおにぎりをテレビを見ながらひとりで食べるという取材を行ったこともある。秋田県は学力テストでトップランクをキープしていて、福井県がその次くらいとなっていて、仕事で関係者にそのことを伺ったところ、「家族で朝ごはんを食べることが成績に繋がる」という回答が返ってきた。大きいと 10 点ほどの差が出ていた。朝ごはんを食べることとお手伝いをさせることが小学生の成績に反映することがとてもおもしろいと感じた。「共食」を勧めるだけでなく、教育関係者からも話を聴いても良かったのではないかと思った。

○この番組は初めて聴いたが、構成はもう少しゲストの登場が早くても良いと思った。オープニングトークが長く感じた。半分でいいと思う。ラストの締めトークも長く感じた。また、ゲストの方のトークが、「書き言葉」を読み上げているように感じた。ラジオ出演に慣れていないので緊張などもあり、間違いなく伝えたいという気持ちから書いてきたものを読んでしまうのかも知れないが、それだと逆に伝わりにくくなってしまう。ゲストの方に、前もってできる限り読むのではなく、リスナーに話しかけてくれるよう指導しておくなどが必要かと思う。番組で過去に取り扱ったテーマもとても興味深いものだと思うが、どれも解決策があるわけではない。それだけに、上辺だけのトークにならないよう、あらゆる角度から切り取るよう制作していただきたいと思う。

○この番組はどのくらいの期間放送しているのか。

■出演者やタイトルは何度か変わっているが、内閣府提供の番組自体は長く続いている。1999 年に始まり、途中で 2013 年の 1 年間だけ休止して現在まで続いている。

○秋元才加さんの声がとてもいい。アイドル出身の方には珍しい安定した声のトーンだと思う。残念だったのは、相槌に「うん」と度々入るのが少し耳障りに感じた。ゲストに対しても幾度か「うん」という相槌があったのも気になった。JOY さんも年齢を考えると若手ではないと思うので、もう少し深い対応をした方がいいと思う。どのようなテーマが来ても、同じリアクションをとっているのではないかと感じた。

○番組では、テーマごとに何か頭に残るようなキーワードを決めて、そのことを伝えて耳に残すのがいいのでは。

■これまでは、パーソナリティが基本 1 人しゃべりで、そこに専門家のゲストが入るスタイルだった。あまりに棒読みになっていて、それを解消するために今年の 4 月から、新たに JOY 氏を起用し、2 人の掛け合いにリニューアルした。フリートークになるような演出を意識するあまり、リアクションが過剰になり、コメントが軽く聴こえてしまっているのかも知れない。

○番組内で「働き方改革」を行い、働き方を見直した結果、子どもとご飯を食べる時間が増えたと紹介されていたが、シングルマザーは働き方を変えられない。コンビニで済ませたくないと思っているはず。でも現実にはそれができない。日本では、温かい食事、食事の皿数、品目が多いことが良しとされ、食事の準備は母親の義務とされている。父親が食事に関して責められることはない。社会構造の問題なので、自分の気持ちの持ちようで変えられるようなことではない。子どもの貧困問題にある孤食は、大人のように、一人で食べる・誰かと一緒に食べるを選べる立場にはなく、やむを得ない。しかし、放送で取り扱う時に、子ども食堂を利用するこどもは貧乏な子であるということがイコールになってはいけない。差別を生むことになる。背景に関係なく誰でも利用できる権利であることを紹介していくことは難しい。限られた 30 分でそれらを含めた全てを伝えていくことは難しいと大変考えさせられた。しかし伝えていくべきだと思う。

○ゲストの選定は内閣府から提供があるのか。

■定期的に情報提供をいただいている。

■課題は多いが、改善に取り組んでいきたい。

5.放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「JOGLIS」

7月 28 日 (土) 7:00～7:20 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp/>

7.その他

次回の放送番組審議会を、9月4日(火)に開催することを決めた。